

# あゆちがた

発行 令和 4年10月 3日(月)

東海市立名和中学校だより 6号



## 名和中祭への熱い想い

生徒会長 吉原 舞彩

気持ちのよい秋風が吹きわたる頃になりました。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中でも、3年生は名和中祭に向けて準備をしています。

私は、最高学年という立場となり、名和中祭は先生方だけの力ではなく、生徒の力により作り上げられているということを知りました。夏休みから準備を始め、その中でなかなかうまくいかないこともたくさんありました。しかし、名和中祭を成功させるという、熱い想いで、ここまでやってこられたことは、とても素晴らしいことだと思います。



さて、今年の名和中祭のスローガンは「勝 Time」～ 見つけ出せ 勝利の方程式 ～ 「全員で勝利に向かっていく。各団の総合優勝を目指して全力でプレーするところを相手に見せつける。」という想いが込められています。私たちはこのスローガンのもと、各学級や各団で団結し、心に残る名和中祭にしたいと思っています。コロナ禍ではありますが今まで頑張ってきてよかった、この団でよかったなど、一人一人の思い出に残るものを名和中生全員で作られるようにしていきます。

また、名和中祭を開催するにあたって先生方だけでなく、たくさんの方々のご協力によって成り立っていると思います。そんな環境に感謝し、最高の名和中祭にできるよう、残りの限られた時間も協力し合い、準備に励んでいきます。



## 応援団長とスローガン

### 黄組「黄金時代」

黄組団長の楠生孔太です。黄組のスローガンは「黄金時代～来たぜ俺らの時代～」です。やっときた自分たちが主役の年、今年は、黄組が黄金の時代を築き、一人一人が輝けるよう精一杯取り組みます。もちろん、目指すは総合優勝！全員でやらなくては意味がありません。黄組のみなさん頑張りましょう。



### 水組「青炎燃勝」

水組団長の金本誠史です。1年・2年の体育祭では先輩方に引っ張ってもらい、私たちはがむしゃらについていただけでした。しかし、今年は私たちが、その役目を果たす番です。スローガンである「青炎燃勝(せいえんねんしょう)」には青い炎はどんな炎よりも熱いという意味が込められています。その思いを胸に団長として水組を誰よりも熱く引っ張り、勝利へ導きます。

## 橙組「雷神太陽」

橙組団長の近藤太一です。今まで私は1度も総合優勝したことがありませんが、全力で取り組んできた体育祭は年間の行事の中でも1番に入るほど楽しい思い出でした。私たちのスローガンは「雷神太陽（ライジングサン）」です。雷神のように光り輝き太陽のように熱く燃えるというのを意識したスローガンです。名和中王になるのは俺たちだ。

## 桃組「桃炎結支」

桃組団長の西原陸斗です。1年・2年の体育祭はとても楽しく、一生懸命に取り組むことができていました。それは、自分たちの力を引き出した今までの先輩方のおかげだと思っています。今年は最高学年としてみんなを引っ張っていけるように全力を尽くしていきます。スローガンの「桃炎結支（とうえんけつぎ）」を中心とし、全力で優勝を目指していきます。

## 黄緑組「華舞黄緑」

黄緑組団長の濱田愛翔です。黄緑組のスローガンは「華舞黄緑（かまきり）」で、かまきりのように力強くという意味が込められています。このスローガンをもとに、力強く、どん欲に勝利を取りにいく団を作り上げたいです。今までにない、最強、最高の名和中祭にしてみせます。楽しみにしておいてください。

## ◆名和中祭の開催について◆

本年度の名和中祭ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭については生徒・教職員のみで行います。

体育祭につきましては、生徒の控え席を広くとるとともに、手指の消毒等必要な感染予防措置をできる限り行った上で、実施予定です。また、保護者様の観覧につきましては、制限しません。御理解、御協力いただきますようお願いいたします。

※学校内への立ち入りは西門（プール側）よりお入りください。外壁工事等の関係で正門は通行禁止とさせていただきます。また、運動場南側の公道からの観覧は近隣の方への御迷惑になりますのでお控えください。

## ◆学校公開日◆

本校で開かれた久しぶりの授業参観が9月13日（火）に行われました。校舎内に保護者の方の姿を見られたことが、とても新鮮に感じました。

全クラスの様子を見て回りましたが、保護者の皆様が見守っていることで、どの教室もいつもと少し違う空気が流れていたように思います。張り切ってテンションの上がっている子、緊張して伏し目がちの子などなど。授業を行う担任も、いつもより少し気が引き締まっているように感じました。こうした緊張感は大切です。子どもたちにとっては、頑張っている姿を保護者の方に見ていただく場。我々職員は、日頃の指導の様子を皆様に見ていただき、評価をいただく場。そういった意味でも、授業参観を開催することができてよかったと思っています。

